

新発田市租税教育推進協議会長賞

これからのための税、考える所得税

新発田市立 第一中学校 3年 西 潟 航 希 さん

「税」このテーマで作文を書くため、私は税についてインターネットによる国税庁のサイトを活用し、税について学びを深めました。税にも色々な種類や仕組みがあるなかで、私は所得税に関心を持ちました。所得税という存在自体は知っていましたが、詳しくは把握していませんでした。所得税とは、個人の所得に対してかかる税金であり、所得が多くなるほど、税率が高くなります。私は国税庁のサイトによるグラフを見てあることに気が付きました。所得税とは、いくらからいくらという範囲によって税率が分けられています。例を挙げるとAの人は所得が195万円。Bの人は所得が194万9千円だとします。AとBでは範囲が違う為少し高い所得のAは税率が10パーセント。Bの人は5パーセントです。こうすると、所得税を引いて入る手取りはBの人の方が多いということに気づきました。税率の範囲の変わり目では税率の低い方が手取りが多くなるということです。これに気づいた私は色々な職と給料、所得税について調べました。同じ職で所得の差があるスポーツ選手で考え理解しようと思いました。サッカー選手であれば、4,000万の人と3,700万の人の税率を引いた手取りは、4,000万は2,200万で3,700万の人は2,220万になりました。この例でも、300万円分高く稼いだ人の方が、手取りが20万円分少なくなります。私は、このような税を国はどう活用しているのか調べて見ました。一番使われていた制度は社会保障の制度でした。社会の授業や日常生活での新聞やニュース等で学びましたが、この制度に一番使われていることは分かりませんでした。私自身も医者に行く時には保険で自費が少なくなっていてとても助かっています。他にも「社会福祉」や「公的扶助」などにより、子どもからお年寄までの人々が生活をしやすいようにしてくれる色々な人にとって助けになる物なんだと改めて思うことができました。税という物は国が国であり国民が生きやすい社会を作るための手助けにもなり、また時には苦しめるものでもあると思いました。今回ピックアップした所得税からは、自分自信が働き収入を得て生活していくなかで、お金というものはどうしても必要となってきます。だからこそ税を学び理解することで収入と税率の関係を考え、効率的にお金を稼ぐ狡猾さも大切だなと思いました。今回この作文を書いたことをきっかけに、税について知り、税について知ることの大切さを感じました。私は更に、税について知り、自分の人生に利用していきたいと思いました。